



社協だより

平成 26 年 1 月 15 日発行 社会福祉法人 士別市社会福祉協議会 士別市東 5 条 3 丁目 サポートセンターしべつ内(TEL22-3012)
<http://www.shibetsu-shakyo.jp/>



わかちあう幸せ

士別幼稚園



雅捷会



こぶたの家保育園

第32回歳末チャリティーふれあい演芸会

ボランティアサークルむぎの会主催の「第32回歳末チャリティーふれあい演芸会」が12月1日に士別市民文化センターで開催され、会場は、満員の観客で埋め尽くされました。

当日は、19団体約227名が出演して琴・舞踊・遊戯・一輪車・バンド・フラダンス・吹奏楽等バラエティーに富んだ内容で訪れた観客は、多彩なステージに終始大きな拍手を送っていました。

益金は、四十四万六千九百三十円という大きな金額となり「歳末たすけあい募金」として士別市共同募金委員会に寄付されました。

ご協力いただいた市民のみなさまに心より感謝いたします。



やさしい心ありがとう

ほくと児童館

新年のご挨拶



社会福祉法人
士別市社会福祉協議会

会長 齊木 勲



明けましておめでとございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、社会福祉協議会に対しまして、温かいご支援ご協力を頂き、心から感謝申し上げますとともに、本年も社協活動と地域福祉の発展に向け、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて近年、急速な少子高齢化の進行にともない、福祉を取り巻く状況も大きく変貌しており、家庭環境の変化に加え、人々の生活意識が多様化してきております。

さらに、介護保険法及び障がい者総合支援法などの制度改正が実施される中で、高齢者や障がい者への施策の大きな変革を背景に、地域社会における様々な生活・福祉課題が提起されており、それに伴う社会福祉協議会の果たす役割も重要となっております。

このためこうした役割を踏まえ、本年におきましても、行政をはじめ自治会やボランティア等、多くの関係団体と連携を密にしながら、地域福祉の中核を担う組織として、役員一丸となり、小地域福祉活動や福祉サービス提供等の各種事業について、なお一層、その取り組みを推進して参りたいと考えております。

今後、「共に生き・共に支えあうまちづくり」を目指し、鋭意努力して参りますので、特段のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶いたします。

歳末チャリティー第29回 カラオケ選手権大会

しべつふれあいの会主催の「歳末チャリティー第29回カラオケ選手権大会」が12月8日に士別市民文化センターで開催され、会場は、満員の観客で埋め尽くされました。今回の選手権には23人が出場してそれぞれが自慢ののどを披露しながら優勝を目指して熱唱しました。ゲストコーナーでは第24回から第28回までのチャンピオンが出演。また、賛助出演として日本現代舞踊徳本流すずらん会士別教室の人たちによる舞踊が披露され、訪れた観客は、参加者たちの歌声を楽しんでいました。益金は、三十六万一千五百三十円という大きな金額となり「歳末たすけあい募金」として士別市共同募金委員会に寄付されました。ご協力いただいた市民のみなさまに心より感謝いたします。



中学生・高校生ワークキャンプ開催

第19回士別市中学生高校生ワークキャンプが11月9日～10日、つくも青少年の家を会場に17名が参加して開催されました。今回の講師は、国立日高青年自然の家主任企画指導専門員、藤田泰昭さんで「当たり前って？」と個性を認め合うをテーマに講演が行われました。藤田さんは、一人一人が色々な「よさ」「個性」をもっている。障がいも個性である、違いを認めあって生活することが大切であると話されました。次の日は、協力しないと結果がでないゲームを通して、気遣いや工夫によって誰もが楽しく「当たり前の生活」ができるように、生徒たちから活発な意見が出されていきました。

見る聞く。体験してみよう!!



ボランティアセンター「掲示板」



裏方の仕事は、各出演者の要望に
 応じて、楽器やマイク、山台等を短時間の内に準備しなければならず、なんと
 か無事役割を果たせたかなと思っ
 ています。最後はむぎの会のメン
 バーと会場が一体となって「花は咲く」の
 大合唱があり、裏方の私たちも最
 後に参加することができてとて
 良かったです。Y H

「歳末チャリティーふれあい演芸会」
 12月1日(日)士別市民文化センター
 において、年末の恒例行事となっ
 ている「第32回ふれあい演芸会」が
 行われ、今年もボランティアセンタ
 ーから8名の運営委員が裏方とし
 て参加しました。

「歳末チャリティーふれあい演芸会」お手伝い



「歴史」を学び、競技用に改造
 された車椅子に乗ってぶつかり
 合う体験をしました。その後、い
 ろいろな障がいがある人も一
 緒に楽しめるオリジナルのスポ
 ーツを、グループごとに考え
 実際に行ってみました。参加者
 から「楽しかった」との声が聞
 かれ、充実した交流会でした。Y K

「上川北部ボランティア実践者交流会」
 11月16日(土)名寄市において、
 「アダプトテッドスポーツ」をテ
 マに開催されました。和寒町か
 ら中川町までのボランティアさ
 んや、旭川市の車椅子ラグビー
 チームの皆さん総勢百四名の仲
 間が集まりました。



第2期士別市 地域福祉実践計画を 策定中です。

「地域福祉実践計画」とは、誰もが安心
 して暮らせるまちづくりを実現するため、
 地域住民やボランティア、団体などが自
 ら参加して進めていく福祉活動の取り組
 みについて、具体的にまとめた社協間の
 行動計画です。

🌀 計画の期間は？

当会では、平成21年度に新士別市地域福祉実践計画を策定し、本計画に基づき地
 域福祉活動を進めて参りましたが、更に活動の推進を図るため、平成26年度から
 30年度まで5カ年の、第2期士別市地域福祉実践計画を策定します。

🌀 計画策定の方法は？

本計画策定にあつては、各自治・ボランティア実践者・民生委員児童委員協議会な
 ど、関係団体12名で構成する、第2期士別市地域福祉実践計画策定懇談会において、
 市民アンケートを参考に審議し策定しており、計画書完成後の、平成26年度に市民
 の皆さんにお知らせ致します。

